

学校教育目標及び令和3年度重点目標

【学校教育目標】

- ・自ら進んで学習する子ども(知)・思いやりを持ち助け合う子ども(徳)・めあてを持って体を鍛える子ども(体)

【令和3年度重点目標】

- ・自らの学びを振り返り熟考する態度の育成
- ・社会性の育成(問題解決能力、及び人間関係づくりの能力)
- ・基礎体力の向上
- ・海洋を中核とする想像力・創造力の育成



豊かな人間性

- ・認め合い、他者と協力する
- ・最後までやり遂げる

健康・体力

- ・運動に親しむ
- ・体力向上
- ・生活習慣

資質・能力の育成

<p>第1 何ができるようになるのか (学校教育の基本)</p>		<p>第3 何が身に付いたのか (学習評価を通じた学習指導の改善)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力を高め、基礎的・基本的な知識や技能が身に付き、活用したりすることで深く理解する。 ・問題解決能力を高め、解決したことを相手に伝えるよう工夫して表現する。 ・主体的・協働的に学び、自他のよさに気付こうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことや体験したことが学校生活のどこに生かしたらよいか考えて取り入れている。 ・学習によって身に付けた知識・技能から新たな気付きや課題を発見し、解決しようとしている。(問いの連続) ・学習評価の振り返りを通して目指す姿を意識しながら自学に生かすことができる。

第4 子供の発達をどのように支援するか

- ・一人一人の特性及び、教育的ニーズを把握し、個に応じた指導の充実を図る。
- ・9年間を見通したキャリア教育の充実を図る。
- ・一人一人の学習改善を図るため、評価計画に基づき、子供の評価方法や目指す姿を確認したり、結果を振り返らせる。

第2 何を学ぶか(教育課程の編成)

- ・言語・情報活用能力・問題解決能力の基礎
- ・海をテーマとした人と海との豊かさ、利用のあり方(総合学習における生物・環境・資源・労働・地域起こし等)
- ・望ましい学習習慣の確立
- ・現代的な課題に対応して求められる資質・能力
- ・コミュニケーション能力
- ・自ら自分の学習を評価することで学習改善を図る力

第3 どのように学ぶか(教育課程の実施)

- ・主体的・対話的な学習活動
- ・粟島浦小中「聞き方・話し方」による伝え方を主体的・協働的に学ぶ
- ・教科横断的なカリキュラムマネジメントにより、資質・能力や学習内容を結び付けて学ぶ
- ・「けてぶれ」による学習スタイルの確立
- ・自ら自分の学習を評価しながら学ぶ



第5 実施するために何が必要か
(指導体制の充実、家庭、地域との連携・協議)

- ・学校(心の教育・コミュニケーション能力・社会性育成・人間性の育成等)で地域に開かれた教育課程の実現
- ・保育園・教育委員会・地域相互の情報共有及び連携・協働
- ・目指す子ども像を共通理解し家庭・地域との情報共有及び連携・協働